

Eon モードデータベース: Vertica 9.1 で提供開始

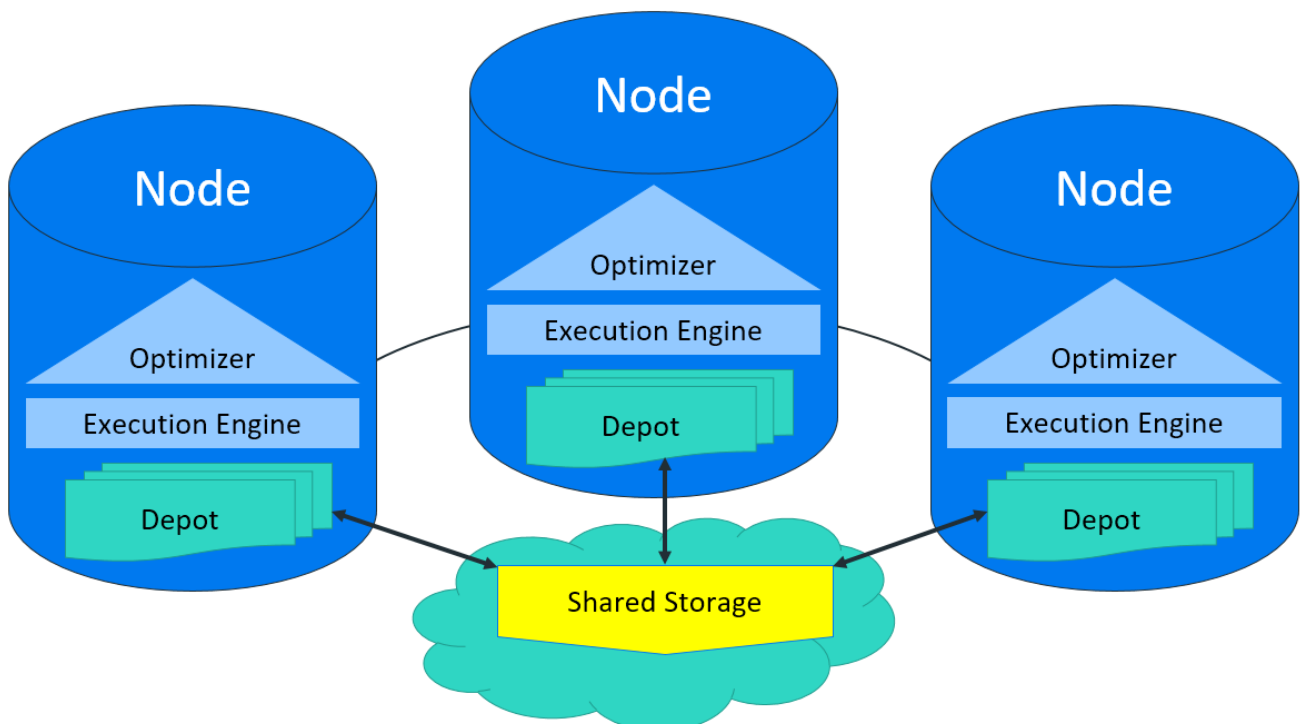
原文は[こちら](#)

これまで、データがローカルノードに分散される従来の Vertica アーキテクチャーである、Enterprise モードでのみ Vertica データベースを操作することができました。現在、2018 年 4 月にリリースされた Vertica 9.1 では、ベータ機能として以前にリリースされていた Eon モードでデータベースを操作できるようになりました。

Eon モードで Vertica データベースを操作すると、新しいワークロードをサポートすると同時に現在のワークロードを実行する Enterprise モードのパフォーマンスと一致します。Eon モードの設計は Vertica の最適化と実行エンジンを再利用します。メタデータ、ストレージ、およびフォールトトレランスのメカニズムは、共用ストレージを有効にして利用するために再設計されました。

Amazon EC2 コンピューティングと S3 ストレージで稼働する Eon モードは、Vertica データベースで使用していたのと同じ優れたパフォーマンス、優れたスケーラビリティ、強固な運用方法を実証します。さまざまなワークロードのニーズを満たすために、特に多数の同時クエリのスループットを向上させるために、Eon モードデータベースを迅速に拡張できます。

Eon モードで Vertica を実行すると、データベースのストレージレイヤーは、計算ノードとは別の単一の共用ストレージの場所にあります。



ノード上のデータは、ディスク上のキャッシュ状のコンポーネントであるデポに保持されます。データストレージのこの中間レイヤーは、各ノードにローカルなデータの高速コピーを提供します。クエリで頻繁に使用さ

れるデータは、デポで優先されます。デポは、新しくロードされたデータを共有ストレージにアップロードする前に保管するためにも使用されます。

Eon モードで Vertica を実行する利点は数多くあります。

- ラピッドスケールングにより、クラスターのサイズをデータボリュームから切り離し、変動する計算ニーズに基づいてクラスターを構成できます。
- クラウド環境は正常に障害を処理します。
- ユーザーは 15 分以内で迅速に使用開始できます。マネージメントコンソール GUI を使用すると、Eon モードクラスターをすばやく作成してデプロイメントを管理できます。
- 共有ストレージは弾力性を提供し、クラスターリソースをクラスターの使用パターンに適合させるための時間と費用を効果的に活用します。

Eon モードのデータベースを起動して実行するのはすばやく簡単です。しかし、それについては私たちの言葉を取らないでください。自分で試してみてください！ Amazon Web Services (AWS) リソースで Vertica クラスターを作成し、AMI を使用してクラスターを作成する方法については、[Vertica documentation](#) の [Vertica on Amazon Web Services](#) を参照してください。

Eon モードデータベースの作成の詳細については、[Vertica documentation](#) で [Using Eon Mode](#) を参照してください。